

「角田市公共施設個別施設計画（長寿命化計画）」に係る意見募集（パブリックコメント）の実施結果

- ・意見の募集期間：令和８年８月１８日（火）～令和８年９月１８日（金）
- ・意見の提出件数：１件
- ・意見の提出方法：本人持参（令和８年９月４日提出）

No.	項目等	意見等の趣旨	角田市の考え方
1-1	意見等	本計画は、令和３年３月策定の改定版と見受けられますが、これまでの５年間の実績を示していただきたい。	前回計画で掲げた実施計画に基づくこれまでの主な取り組みとしては、①角田・桜・北郷各自治センターの移転統合、②総合保健福祉センター・障害者就労支援施設のぎくの大規模改造、③総合体育館の屋上・外壁改修、④老人福祉センター内町荘・婦人研修センターの廃止などを行っています。
1-2	意見等	本計画の維持・更新コストの試算期間を４０年間として、対象施設のほとんどを長寿命化の判定としているが、４０年間に長寿命化をしても、安全性の確保は、補償されるか疑問である。PDCA サイクルで見直しを図ることから、長寿命化でなく、改築や大規模改造もあり得るということによいか。	今後も維持・活用する施設については、建物の目標使用年数を８０年とし、トータルコストの低減のため長寿命化改修を推進するものです。ただし、施設の老朽化の状況や社会情勢や住民ニーズの変化などを踏まえ、PDCA サイクルにより改築等を選択する場合もあり得ると考えます。
1-3	意見等	本計画は、公共施設のみとなっているが、上位計画の「角田市公共施設等総合管理計画」（令和５年３月改定）には、インフラ施設も含めての計画となっている。そこで、インフラ施設の設備費用については、莫大な資金が必要となるが、財源についてどのように考えているのか。	インフラ施設は住民の生活を支える重要な基盤である一方で、老朽化に伴う更新には多額の費用が見込まれています。その財源の確保については、国の補助金や有利な地方債の活用をはじめ、各種基金の積み立てなど中長期的な視点に立った計画的な財政負担の平準化策を進めます。併せて、インフラの重要度や優先度に基づいた取捨選択や効率的な管理手法の導入なども推進していきます。

No.	項目等	意見等の趣旨	角田市の考え方
1-4	意見等	将来の人口減少や少子高齢化により、市税や地方交付金等の財源確保が厳しい状況になることを考慮し、公共施設の再編・統廃合を含む効率的な管理運営とあるが、現時点で具体的な考えを示さないのか。	今後の人口減少等に伴う財政状況の変化を見据えた公共施設のあり方について貴重なご提言ありがとうございます。 本計画で対象とした各施設については、利用状況や住民生活の影響を考えると、現時点において具体的な統廃合の方針を示すことは難しい状況ではあります。今後、引き続き各施設の利用状況や財政見通しを注視しながら、中長期的な視点に立った公共施設の適正配置の検討を進めていきます。
1-5	意見等	用途廃止した施設（旧角田自治センター等）の維持方針等のコメントに民間等に活用とありますが、民間に売却した場合は、売却するまでの間、修繕（長寿命化等）の対応は、市で行うのか。民間での活用には、住民の意見を尊重して取り組むことを望む。	民間等の活用を検討する施設については、それまでの修繕等の対応は市が行います。施設の利活用にあたっては、「角田市廃校施設等利活用方針」に基づき、これまでも地域コミュニティに配慮した対応を行ってきており、引き続き地区住民の意見を聞きながら進めていきます。